

JAMは徹底的に闘う



極めて不誠実な対応であると報道記者に訴えるJAM安河内会長

JAMは12月4日春闘方針大綱を説明する記者説明会を東京・友愛会館で開催した。あわせて、事業譲渡を悪用した組合つぶしに関し、ゲンゼSOZ労組・高辻執行委員長が報告を行った。

高辻執行委員長から概要説明が行われた。

2024年3月28日のゲンゼ取締役会で、(株)ホリゾン社とゲンゼ(株)・メカトロ事業部の事業譲渡に向け交渉を開始することを決議し、同日にHPでプレス発表した。

ゲンゼがメカトロ事業の前身である新大阪造機を吸収合併した際、「メカトロ事業の閉鎖・廃止・移転・縮小・統合・分散について、ゲンゼと組合は事前に話し合い、組合の合意を得て行う」という協定締結をしていた。ゲンゼはその締結に反し、組合役員へ一方的に事業譲渡を通知後、HPにプレス発表を行った。

ゲンゼは「事業譲渡は経営の専権事項であり、組合との合意は必要ない」、ホリゾンは「事業譲渡を行うか否かは当社の経営に属する事項であり、団体交渉に応じる意思はない」「事業譲渡前なので、ゲンゼSOZ労組の組合員

と雇用関係がないから団体交渉はしない」など、両者共に組合に対して、一切歩み寄る姿勢を見せず、事業譲渡を強行に進めている。

JAM安河内会長は、「極めて不誠実な対応である。M&A(事業売却)に関連する組合つぶしが頻発している。不誠実な経営者とJAMは徹底的に闘う」と強く訴えた。



JAM'S Insight



ゲンゼSOZ労組 記者レク
組合つぶしのM&Aは許さない!



事業譲渡を悪用した組合つぶしの報告会をする高辻執行委員長(ゲンゼSOZ労組・JAM大阪)